

2027年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔 I F R S 〕（連結）

2026年10月9日

上場取引所 東 福

上場会社名 株式会社 安川電機

コード番号 6506 URL <https://www.yaskawa.co.jp>

代表者 （役職名） 代表取締役会長兼社長 （氏名） 小笠原 浩

問合せ先責任者 （役職名） コーポレートブランディング （氏名） 加藤 貴亮 TEL 093-588-3076
本部 広報・IR部長

半期報告書提出予定日 2026年10月13日 配当支払開始予定日 2026年11月10日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年3月1日～2026年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		中間利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年2月期中間期	285,598	9.8	22,058	△5.5	25,963	3.0	19,329	2.7
2026年2月期中間期	260,195	△0.5	23,334	1.8	25,204	3.2	18,827	4.4

	親会社の所有者に 帰属する中間利益		中間包括利益 合計額		基本的1株当たり 中間利益	希薄化後1株当たり 中間利益
	百万円	％	百万円	％	円 銭	円 銭
2027年2月期中間期	18,988	4.1	30,086	19.5	73.21	73.11
2026年2月期中間期	18,247	2.2	25,170	133.8	70.36	70.28

（2）連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円		百万円		百万円	％
2027年2月期中間期	842,833		514,590		504,101	59.8
2026年2月期	812,365		493,615		483,542	59.5

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	34.00	—	34.00	68.00
2027年2月期	—	36.00			
2027年2月期（予想）			—	36.00	72.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年2月期の連結業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	600,000	10.7	57,500	21.5	65,500	32.2	47,500	34.8
								183.11

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

決算に関する詳細情報として、当社ウェブサイト（<https://www.yaskawa.co.jp>）に本日公表の決算補足説明資料を掲載しております。併せてご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 （社名）、除外 一社 （社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① I F R Sにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年2月期中間期	266,690,497株	2026年2月期	266,690,497株
② 期末自己株式数	2027年2月期中間期	7,251,147株	2026年2月期	7,322,538株
③ 期中平均株式数（中間期）	2027年2月期中間期	259,378,899株	2026年2月期中間期	259,354,270株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に掲載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件などについては、第2四半期（中間期）決算短信（添付資料）5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、2026年10月13日（火）に証券アナリスト・機関投資家向け決算説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績の概況	2
(2) 財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約中間連結財務諸表および主な注記	6
(1) 要約中間連結財政状態計算書	6
(2) 要約中間連結損益計算書および要約中間連結包括利益計算書	8
(3) 要約中間連結持分変動計算書	10
(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績の概況

①2027年2月期中間連結会計期間(2026年3月1日～2026年8月31日)の経営成績

当中間連結会計期間における当社グループの経営環境は、中東情勢をはじめとした地政学的リスクなどが継続したものの、AI関連投資にけん引されたデータセンタおよび半導体関連を中心とした設備投資需要は好調に推移しました。また、一般産業分野における自動化需要も底堅く推移しました。

このような経営環境のもと、当社グループの業績は、経営基盤の強化を目的とした基幹システムの移行に伴う影響があったものの、データセンタおよび半導体関連を中心に需要が拡大し、モーションコントロールセグメントを中心に販売が伸長したことにより、売上収益は前年同期比で増加しました。一方、営業利益については基幹システムの移行に伴う生産・出荷への影響に加え、間接費の増加や欧州における事業構造改革費用の一時的な計上などにより、前年同期比で減少しました。

この結果、当中間連結会計期間の経営成績は以下のとおりです。

	2026年2月期 中間連結会計期間	2027年2月期 中間連結会計期間	前年同期比
売 上 収 益	2,601億95百万円	2,855億98百万円	+9.8%
営 業 利 益	233億34百万円	220億58百万円	△5.5%
親会社の所有者に帰属する 中 間 利 益	182億47百万円	189億88百万円	+4.1%
米 ド ル 平 均 レ ー ト	146.23円	159.82円	+13.59円
ユ ー ロ 平 均 レ ー ト	166.04円	184.91円	+18.87円
中 国 人 民 元 平 均 レ ー ト	20.26円	23.48円	+3.22円
韓 国 ウ ォ ン 平 均 レ ー ト	0.104円	0.108円	+0.004円

なお、当中間連結会計期間における当社グループの地域別の需要環境は以下のとおりです。

日 本： 半導体・電子部品関連を中心とした設備投資需要は好調に推移し、一般産業分野においても自動化需要が回復しました。また、慎重な投資姿勢が継続していた自動車市場においても回復の兆しが見られました。

米 州： データセンタおよび半導体関連の旺盛な需要が継続し、自動車や一般産業向けの設備投資も底堅く推移しました。また、オイル・ガス関連の大口案件も増加し、需要は高水準で推移しました。

欧 州： 自動車市場では慎重な投資姿勢が継続したものの、半導体関連需要が拡大しました。また、製造業全般における需要は底堅く推移し、自動化需要にも回復の動きが見られました。

中 国： 半導体関連投資の拡大を背景に需要は好調に推移し、一般産業分野における自動化需要も底堅く推移しました。自動車市場は大口案件があった前年同期に比べて減少したものの、設備投資需要は底堅く推移しました。

中国除くアジア：韓国・台湾を中心とした半導体関連需要が高水準で推移するとともに、一般産業分野における自動化需要も底堅く推移しました。

②セグメント別の状況

当社グループでは、事業内容を4つのセグメントに分けています。

当中間連結会計期間の各セグメントの経営成績は以下のとおりです。

モーションコントロール	売上収益	1,372億86百万円	(前年同期比 +21.7%)
	営業損益	159億73百万円	(前年同期比 +32.8%)
モーションコントロールセグメントは、ACサーボモータ・コントローラ事業とインバータ事業で構成されています。 売上収益は、データセンタおよび半導体関連投資を背景とした需要拡大を捉え、主に米州、中国および韓国・台湾における販売拡大につなげたことにより前年同期比で増加しました。利益面については、基幹システムの移行に伴う生産・出荷への影響があったものの、売上増加により増益となりました。 〔ACサーボモータ・コントローラ事業〕 半導体・電子部品関連や工作機械向けを中心に販売が伸長し、すべての地域で増収となりました。 〔インバータ事業〕 データセンタ用途および半導体製造装置向けその他、オイル・ガス関連向けの販売拡大などにより、増収となりました。			
ロボット	売上収益	1,184億4百万円	(前年同期比 △0.7%)
	営業損益	59億74百万円	(前年同期比 △43.3%)
自動車市場向け販売が堅調だった米州や半導体ロボットの販売が好調に推移した中国など海外での販売が拡大したものの、日本における基幹システム移行影響により販売が減少し、売上収益は前年同期比で微減となりました。営業利益については、売上減少や欧州における事業構造改革費用の一時的な計上などにより、前年同期比で減少しました。			
システムエンジニアリング	売上収益	207億78百万円	(前年同期比 +11.2%)
	営業損益	34億80百万円	(前年同期比 +79.5%)
港湾クレーン関連等の販売が拡大したことにより、売上収益は前年同期比で増加しました。利益面についても、売上増に加え案件の採算改善により大幅な増益となりました。			
その他	売上収益	91億28百万円	(前年同期比 △3.5%)
	営業損益	5億75百万円	(前年同期比 △38.5%)
その他セグメントは、物流サービス事業などで構成されています。 売上収益が減少し、営業利益もその他の収益の減少などにより前年同期比で減益となりました。			

(2) 財政状態の概況

①資産、負債および資本の状況

(a) 資産 8,428億33百万円（前連結会計年度末比 304億67百万円増加）

その他の流動資産、契約資産および営業債権が減少したものの、棚卸資産や現金及び現金同等物の増加などにより、流動資産が前連結会計年度末に比べ43億9百万円増加しました。また、有形固定資産や無形資産の増加などにより、非流動資産が前連結会計年度末に比べ261億58百万円増加しました。

(b) 負債 3,282億42百万円（前連結会計年度末比 94億92百万円増加）

その他の金融負債などが減少したものの、契約負債や営業債務の増加などにより、流動負債が前連結会計年度末に比べ58億6百万円増加しました。また、長期借入金やリース負債の増加などにより、非流動負債が前連結会計年度末に比べ36億86百万円増加しました。

(c) 資本 5,145億90百万円（前連結会計年度末比 209億75百万円増加）

利益剰余金やその他の資本の構成要素などが増加しました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は660億83百万円（前連結会計年度末比 48億60百万円増加）となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

(a) 営業活動によるキャッシュ・フロー

税引前中間利益に減価償却費を加えた収入などから、法人所得税の支払などを差し引き、456億28百万円の収入（前年同期比 298億23百万円の収入増）となりました。

(b) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資有価証券の売却による収入などがあったものの、有形固定資産及び無形資産の取得による支出や連結の範囲の変更を伴う子会社株式等の取得による支出などにより、296億42百万円の支出（前年同期比 140億17百万円の支出増）となりました。

(c) 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金による収入があったものの、社債の償還、長期借入金の返済および配当金の支払などにより、127億76百万円の支出（前年同期比 12億85百万円の支出増）となりました。

※営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合算したフリー・キャッシュ・フローは159億85百万円の収入となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年2月期通期の連結業績予想については、為替相場が円安水準で推移しており、売上収益の増加が見込まれる一方、基幹システム移行による当中間期の生産・出荷への影響等を織り込み、2026年4月10日に公表した2027年2月期通期連結業績予想を修正いたします。

なお、2026年9月1日から2027年2月28日までの期間における平均為替レートについては、2026年4月10日公表の想定から見直し、1ドル＝145.00円から155.00円、1ユーロ＝170.00円から180.00円、1中国人民元＝20.50円から22.00円、1韓国ウォン＝0.105円から0.107円といたします。

また、年間配当予想の変更はありません。

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想（A） （2026年4月10日公表）	580,000	60,000	65,000	47,000	181.21
今回修正予想（B）	600,000	57,500	65,500	47,500	183.11
増減額（B－A）	20,000	△2,500	500	500	1.90
増減率（％）	3.4	△4.2	0.8	1.1	1.0
前期実績 （2026年2月期）	542,122	47,307	49,563	35,240	135.88

本資料に記載されている連結業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により異なる可能性があります。

2. 要約中間連結財務諸表および主な注記

(1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当中間連結会計期間 (2026年8月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	61,223	66,083
営業債権	163,942	161,485
契約資産	11,000	8,082
棚卸資産	210,764	218,108
その他の金融資産	3,162	4,093
その他の流動資産	21,422	17,974
流動資産合計	471,517	475,827
非流動資産		
有形固定資産	163,955	176,018
のれん	7,412	10,639
無形資産	30,179	34,597
使用権資産	16,852	18,046
持分法で会計処理されている投資	5,513	7,580
その他の金融資産	90,424	93,581
繰延税金資産	10,753	11,020
その他の非流動資産	15,755	15,521
非流動資産合計	340,847	367,006
資産合計	812,365	842,833

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当中間連結会計期間 (2026年8月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	57,681	60,303
社債及び借入金	45,572	43,218
未払法人所得税	3,841	2,910
リース負債	3,737	3,959
その他の金融負債	10,823	5,807
引当金	1,395	2,646
契約負債	28,014	36,952
その他の流動負債	40,094	41,168
流動負債合計	191,159	196,965
非流動負債		
社債及び借入金	64,457	66,084
リース負債	11,085	12,083
その他の金融負債	691	1,242
退職給付に係る負債	25,963	26,133
繰延税金負債	12,784	13,736
引当金	3,265	2,854
その他の非流動負債	9,341	9,141
非流動負債合計	127,590	131,276
負債合計	318,749	328,242
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	30,562	30,562
資本剰余金	29,916	29,829
利益剰余金	369,336	380,179
自己株式	△31,608	△31,325
その他の資本の構成要素	85,335	94,856
親会社の所有者に帰属する持分合計	483,542	504,101
非支配持分	10,073	10,489
資本合計	493,615	514,590
負債及び資本合計	812,365	842,833

(2) 要約中間連結損益計算書および要約中間連結包括利益計算書
(要約中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月 1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月 1日 至 2026年8月31日)
売上収益	260,195	285,598
売上原価	△167,320	△184,413
売上総利益	92,874	101,185
販売費及び一般管理費	△71,285	△78,155
その他の収益	2,130	936
その他の費用	△385	△1,907
営業利益	23,334	22,058
金融収益	3,451	4,200
金融費用	△1,746	△2,287
持分法による投資損益	165	1,992
税引前中間利益	25,204	25,963
法人所得税費用	△6,376	△6,633
中間利益	18,827	19,329
中間利益の帰属		
親会社の所有者	18,247	18,988
非支配持分	580	340
合計	18,827	19,329
親会社の所有者に帰属する1株当たり中間利益		
基本的1株当たり中間利益 (円)	70.36	73.21
希薄化後1株当たり中間利益 (円)	70.28	73.11

(要約中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月 1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月 1日 至 2026年8月31日)
中間利益	18,827	19,329
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融 資産の純変動額	1,748	1,846
確定給付制度の再測定額	△276	△263
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持 分	31	△0
合計	1,502	1,582
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	4,847	9,135
キャッシュ・フロー・ヘッジに係る公正価値の純変動 額	△7	39
合計	4,839	9,174
その他の包括利益合計	6,342	10,757
中間包括利益合計	25,170	30,086
中間包括利益合計の帰属		
親会社の所有者	24,429	29,183
非支配持分	740	903
合計	25,170	30,086

(3) 要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間（自 2025年3月1日 至 2025年8月31日）

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の構 成要素	合計		
2025年3月1日残高	30,562	29,817	348,003	△31,702	54,508	431,188	8,421	439,610
中間利益	—	—	18,247	—	—	18,247	580	18,827
その他の包括利益	—	—	—	—	6,182	6,182	160	6,342
中間包括利益合計	—	—	18,247	—	6,182	24,429	740	25,170
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0	—	△0
自己株式の処分	—	△7	—	96	—	88	—	88
剰余金の配当	—	—	△8,818	—	—	△8,818	△408	△9,226
株式報酬取引	—	22	—	—	—	22	—	22
支配継続子会社に対する持分変動	—	△1	—	—	—	△1	—	△1
その他の資本の構成要素から利益 剰余金への振替	—	—	1,892	—	△1,892	—	—	—
その他	—	—	139	—	—	139	—	139
所有者との取引額等合計	—	13	△6,785	95	△1,892	△8,569	△408	△8,977
2025年8月31日残高	30,562	29,831	359,464	△31,607	58,798	447,049	8,753	455,803

当中間連結会計期間（自 2026年3月1日 至 2026年8月31日）

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の構 成要素	合計		
2026年3月1日残高	30,562	29,916	369,336	△31,608	85,335	483,542	10,073	493,615
中間利益	—	—	18,988	—	—	18,988	340	19,329
その他の包括利益	—	—	—	—	10,194	10,194	563	10,757
中間包括利益合計	—	—	18,988	—	10,194	29,183	903	30,086
自己株式の取得	—	—	—	△1	—	△1	—	△1
自己株式の処分	—	44	—	283	—	328	—	328
剰余金の配当	—	—	△8,819	—	—	△8,819	△487	△9,306
株式報酬取引	—	△12	—	—	—	△12	—	△12
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益 剰余金への振替	—	—	672	—	△672	—	—	—
その他	—	△119	—	—	—	△119	△0	△120
所有者との取引額等合計	—	△87	△8,146	282	△672	△8,623	△487	△9,111
2026年8月31日残高	30,562	29,829	380,179	△31,325	94,856	504,101	10,489	514,590

(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月 1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月 1日 至 2026年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益	25,204	25,963
減価償却費、償却費及び減損損失	10,373	13,148
持分法による投資損益 (△は益)	△165	△1,992
金融収益及び金融費用 (△は益)	△2,634	△2,806
営業債権の増減額 (△は増加)	1,880	7,128
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,840	△2,875
営業債務の増減額 (△は減少)	△793	956
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△276	153
引当金の増減額 (△は減少)	△277	482
その他	△7,281	12,124
小計	22,188	52,284
利息及び配当金の受取額	1,518	1,383
利息の支払額	△631	△959
法人所得税の支払額	△7,271	△7,079
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,804	45,628
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△7
定期預金の払戻による収入	—	32
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△17,963	△27,286
有形固定資産及び無形資産の売却による収入	847	76
投資有価証券等の取得による支出	△2,702	△78
投資有価証券等の売却及び償還による収入	3,495	1,316
連結の範囲の変更を伴う子会社株式等の取得による支出	—	△3,736
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	944	△74
その他	△245	115
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,625	△29,642
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	7,867	3,057
長期借入れによる収入	—	15,007
長期借入金の返済による支出	△8,399	△9,373
社債の償還による支出	—	△10,000
リース負債の返済による支出	△1,948	△2,272
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△8,835	△8,861
非支配持分への配当金の支払額	△174	△333
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,491	△12,776
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△11,312	3,208
現金及び現金同等物の期首残高	59,028	61,223
現金及び現金同等物に係る換算差額	585	1,651
現金及び現金同等物の中間期末残高	48,301	66,083

(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの事業セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、モーションコントロール、ロボット、システムエンジニアリングの3つの事業単位を基本に組織が構成されており、各事業単位で日本および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは事業部別のセグメントから構成されており、「モーションコントロール」「ロボット」「システムエンジニアリング」の3つを事業セグメントおよび報告セグメントとしております。

「モーションコントロール」は、ACサーボモータ、制御装置およびインバータの開発、製造、販売および保守サービスを行っております。「ロボット」は、産業用ロボットなどの開発、製造、販売および保守サービスを行っております。「システムエンジニアリング」は、産業用オートメーションドライブおよび社会システムの開発、製造、販売および保守サービスを行っております。

報告されているセグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表に適用している会計方針と概ね同一です。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。

セグメント間の内部売上収益または振替高は、主に市場実勢価格に基づいております。

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益または損失

前中間連結会計期間（自 2025年3月1日 至 2025年8月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結計
	モーショ ンコント ロール	ロボット	システム エンジニア リング	計				
売上収益								
外部顧客への売上 収益	112,837	119,204	18,690	250,732	9,462	260,195	—	260,195
セグメント間の内 部売上収益または 振替高	9,052	942	225	10,220	8,594	18,814	△18,814	—
合計	121,889	120,146	18,916	260,952	18,056	279,009	△18,814	260,195
営業利益	12,024	10,542	1,939	24,506	935	25,441	△2,107	23,334
金融収益								3,451
金融費用								△1,746
持分法による投資損 益								165
税引前中間利益								25,204

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービスなどの事業が含まれております。

2. 調整額の内容は以下のとおりです。

セグメント利益の調整額△2,107百万円には、セグメント間取引消去14百万円、各セグメントに配分していない全社収益および費用△2,122百万円が含まれております。その主な内訳は、報告セグメントに帰属しない基礎研究などに係る費用および全社費用配賦差額であります。

当中間連結会計期間（自 2026年3月1日 至 2026年8月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結計
	モーショ ンコント ロール	ロボット	システム エンジニア リング	計				
売上収益								
外部顧客への売上 収益	137,286	118,404	20,778	276,470	9,128	285,598	—	285,598
セグメント間の内 部売上収益または 振替高	8,826	639	296	9,761	8,430	18,192	△18,192	—
合計	146,112	119,043	21,075	286,231	17,559	303,790	△18,192	285,598
営業利益	15,973	5,974	3,480	25,428	575	26,003	△3,944	22,058
金融収益								4,200
金融費用								△2,287
持分法による投資損 益								1,992
税引前中間利益								25,963

（注）1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービスなどの事業が含まれております。

2. 調整額の内容は以下のとおりです。

セグメント利益の調整額△3,944百万円には、セグメント間取引消去△52百万円、各セグメントに配分していない全社収益および費用△3,892百万円が含まれております。その主な内訳は、報告セグメントに帰属しない基礎研究などに係る費用および全社費用配賦差額であります。